

くさのクローバー新聞

インフルエンザ予防接種のご案内

インフルエンザの流行は日本の例年によると12月から3月ごろに短期間で多くの人へ感染します。予防方法の1つとして流行前のワクチン接種があります。

これは**感染後に発病する可能性を低減**させる効果と**インフルエンザにかかった場合の重症化防止**に有効と報告されています。

ワクチン接種による効果が出現するまでに2週間程度を要することから、早めにワクチン接種を終えることが望ましいことが考えられます。ここで接種回数について説明します！

- ① 6ヶ月以上13歳未満の方は2回接種
- ② 13歳以上は1回接種となります。

当院でもインフルエンザワクチン予防接種を行います。完全予約制となりますので、**早めのご予約をお願いいたします。**

こちらに着任させていただき武雄の人達のあたたかい人柄と良い風土に支えられ有意義な時間を過ごさせていただき感謝しております。この度、地元広島県尾道市にて開業する運びとなったため10月末をもちまして退職させていただくこととなりました。新天地は瀬戸内の島々を橋で結び四国愛媛県今治市まで通じるしまなみ街道などがあり海が生活の一部となるような自然の多い場所です。これからもっと自分を磨き地域医療に貢献していけたらと考えております。本当にありがとうございました。

小坂史朗



くさの耳鼻咽喉科

〒843-0001

佐賀県武雄市朝日町大字甘久1287

製作者：山口  古賀 

幼児の止まりにくい鼻水

小さいお子様は鼻水が出だすと、なかなか止まりにくい時があります。その原因にはいくつかあります。

①体が小さいので鼻の中が狭いです。少しの鼻水でも鼻の中が鼻水で埋まってしまいます。

②小さいお子様は鼻呼吸が出来ないことが多いです。大人であれば、数回鼻を擤めば済むことですが、それが出来ません。

③集団保育（保育園・託児所）に預けているお子様は、なかなか鼻水が止まりにくいのです。免疫能力が未熟なうちに保育園に入園すると、繰り返し風邪がうつってしまいます。風邪だけで治まればよいですが、それから急性鼻炎（青鼻）となり、治りそうかなと思っただけ、また違う別の風邪をひいてしまいます。そうなると鼻水が止まる暇がありません。（慢性鼻炎）

耳鼻科で鼻水を吸い上げると状態が悪化しにくくなります。毎日通われている方もいらっしゃるかもしれません。無理されない程度に治療を続けましょう。当院では小さなお子様が、できるだけ苦痛なく治療を行えるよう日々、努力を重ねております。

小さなお子様の鼻水が続くと急性中耳炎、滲出性中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎になりやすいので注意が必要です。当院のホームページにも耳鼻科の病気について載せておりますので、ぜひご覧ください。



〈患者様アンケートのお返事〉

いつ行っても笑顔で接していただいていたので感謝しています。子どもたちにもわかりやすく説明してもらおうので安心して通院できています。院長先生の治療は信頼でき安心しますが、代診の先生の診察や治療については一度適確でなかったこともあり不安感を覚えることがあります。

勤務医の診療でご心配をおかけしました。診療状況がわかりませんので、コメントしづらい部分があります。予測してお答えしたいと思います。私（院長）でも、風邪と診断しても、風邪から急性副鼻腔炎などの病気になるって、症状としては悪化してしまうことがあります。風邪はウイルス感染ですので抗生剤は効果がなく患者様自身の力でなおす必要があります。急性副鼻腔炎までなってしまうときは抗生剤が必要になります。どのような病気でもこのような事は起こりえます。このように、今後起こり得る可能性を勤務医がご説明すればよかったのかなと思います。ただ、そのようなあらゆる可能性をお伝えすることは、可能性が多すぎて無理なこともあります。当院に勤務している医師は、総合病院の第一線（大学病院やその関連病院）で耳鼻咽喉科診療を日々行っています。どうかご安心していただければと思います。

主に子供の通院で利用するのが、看護師・先生に慣れて子供も安心できている。

子供が耳鼻科を怖がらなくなり、とても助かっています。治療時間がかかる時も子どもが嫌がらないので、とても通いやすいです。

看護師、医師の対応が大変丁寧。院内も綺麗でアイチケットを利用できる、また利用者の声を積極的に聞こうとしてくれるところが良い。今まで受診した中で一番良い病院だと思っています。しつかり診て頂けるので安心して受診できます。

先生がさっさと話を進めて、早く、話がしにくい。もう少し聞いてほしい。威圧的な感じがしてうまく話せない。

私（院長）やドクターの対応が冷たかったり、話しにくい雰囲気を出していた可能性があるかと反省しております。患者様がたくさん待つて頂いていると、どうしても診療を急ぐあまりにそのような対応になってしまった可能性があります。申し訳ございませんでした。これからはもっと温かく話しかけやすい対応を心掛けたいと思います。もし、もう少しお聞きになりたいことがございましたら、ご遠慮なくお声かけください。診察後に不明な点がございましたら、お近くのスタッフにお尋ねください。必要であれば、再度診察や説明をさせていただきます。また、疾患によっては、治療カードやiPadでの説明、スタッフによるアフターカウンセリングなども行っております。

先生、スタッフの方々、いつも丁寧で優しい対応をありがとうございます。子どもたちも病院を嫌がることなく通院しています。

たくさんのご意見ありがとうございます。

これからもみなさまに満足していただけるよう努力してまいります。